

あわつと感染症情報(2026-29)

☆今週のピックアップ☆

管内でも手足口病が流行しています！

手足口病は、エンテロウイルス属のウイルスを原因とする感染症です。発熱や、手、足、口腔内、口唇に小水疱が出ることが特徴で、乳幼児に多い病気です。ほとんどの場合は自然に軽快しますが、ワクチンや特別な治療法はないため、手洗い等の基本的な感染防止対策の実施に努めましょう。

予防のポイント

- ✿ アルコール消毒が効きにくいいため、流水とせっけんによる手洗いをこまめに行いましょう
- ✿ おむつ交換などの後は排泄物を適切に処理しましょう
- ✿ タオルなどの共用を避けましょう



<参考>

・手足口病の流行について(千葉県)

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/press/2026/handfootmouth-disease.html>

・手足口病(厚生労働省)

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/hfmd.html>

・手足口病(国立健康危機管理研究機構)

<https://id-info.jihs.go.jp/infectious-diseases/hand-foot-mouth-disease/index.html>

☆安房管内の感染症発生状況☆

★安房管内における2026年第29週(令和8年7月13日～令和8年7月19日)

新型コロナウイルス感染症

激増	増加	増減なし	減少

安房 定点医療機関当たりの報告数は0.00人と前週0.67人と比べ、減少しました。



県 県全体の報告数は1.34人と前週1.22人と比べ、増加



<参考>・新型コロナウイルス感染症について(千葉県) <https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/kansenshou/ncov/covid19-chiba-index.html>

手足口病

28週よりは減少したが
大流行中

安房 定点医療機関当たりの報告数は5.50人と前週14.75人と比べ、減少しました。



県 県全体の報告数は12.79人と前週15.40人と比べ、減少



<参考>・手足口病(厚生労働省) <https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/hfmd.html>

・手足口病の流行について(千葉県) <https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/press/2026/handfootmouth-disease.html>

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

安房 定点医療機関当たりの報告数は0.75人と前週1.00人と比べ、減少しました。



県 県全体の報告数は1.83人と前週2.21人と比べ、減少



<参考>・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(厚生労働省) <https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/01-05-17.html>

✿安房管内の全数届出疾患✿

全ての医師の方は、対象の感染症の診断を行った際に、最寄りの保健所に届け出る必要があります。

<2 類感染症>

★結核 1件

結核は、結核菌によって発生するわが国の主要な感染症の一つです。

結核菌は主に肺の内部で増えるため、咳、痰、発熱、呼吸困難等、風邪のような症状を呈することが多いですが、肺以外の臓器が冒されることもあり、腎臓、リンパ節、骨、脳など身体のあらゆる部分に影響が及ぶことがあります。特に、小児では症状が現れにくく、全身に及ぶ重篤な結核につながりやすいため、注意が必要です。

<参考>・結核について(千葉県) https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou03/

<4 類感染症>

★日本紅斑熱 2件

日本紅斑熱リケッチアを保有するマダニに刺されることで感染するダニ媒介感染症です。

マダニに刺されてから、2日から8日程度の潜伏期間を経て発症します。主な症状は、発熱、発疹、マダニの刺し口にできる痂皮です。診断が遅れると、重症化することがあるため注意が必要とされています。

<参考>・日本紅斑熱について(千葉県) <https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/eiseikenkyuu/virus/madani.html>

【配信元】

千葉県安房保健所(安房健康福祉センター)

あわつと感染症情報

awat-news@mz.pref.chiba.lg.jp